

こども委員会のよりみちコラム

今回の担当：五十嵐 修太

書いた日：2024年10月7日

皆さん、こんにちは！今月のよりみちコラムの担当は五十嵐です。気温が下がってきて体調を崩される方が周りで出始めております。子ども達の間でも様々な感染症が流行しており、親も気が抜けない状況です…。

私事ですが、10月から職場が変わり6年近く勤めた遠野の職場を離れることとなりました。この6年間ほどは様々な人から支えていただき、やっと職場の方と仕事以外の話をすることが出来るほどに関係が築けてきたと実感していたため、最近までは新しい職場への不安感よりも寂しさが勝っておりました。

ですが、いざ新しい職場に勤めてみると、同じリハビリの業務でも施設によって業務の流れや他職種との連携方法が異なる、対象者の雰囲気さえ違うということを肌で感じる場面が多々ありました。まだ業務の全容が把握出来ていないこともあり、どんなことに気を配れば良いのかもわからず、ドキドキしながら業務に励んでおります（汗）。新しい環境、新しい人間関係、新しい業務は何歳になっても緊張が付きまとうんだなぁと実感しました。幸いなことに職員の皆さんはとても優しく、何度声をかけても嫌な顔せず話を聞いてくれるため、メモを取りながら何度も確認させていただいております。

息子も私より一足先に今年の四月から遠野の保育園を離れ、新しい保育園に転園しておりました。転園して初めての登園の日には、離れる際に大泣きしました。大丈夫かなぁ…と後ろ髪を引かれる思いで子供を預け、数時間の保育時間がとても長く感じられたことを覚えています。ですが、迎えに行くとケロッとしており、笑顔でブロック遊びをする息子の姿がありました。「朝は泣いちゃったけど、もう泣かないから！」と自ら宣言し、現在でも有言実行しております。最近では迎えに行くと、「もう来たの？何時に来たの？もっと遊びたかったなぁ～！」と愚痴を言われております（笑）。子どもって見た目よりとてもタフだなと感じ、大人の方が緊張しているんじゃないかなと思ってしまい少し反省しました。また、ネットで子育て情報（web漫画）などを漁っていると、意外と同じ経験をした親御さんが多いんだなと知り、安心もしました。

今回は作業療法のことではなく、子どもってすごいなと感じたことや、親も子供と一緒に成長するってこういうことかなぁと感じたことについてツラツラと書いてみました。来月もどうぞよろしくお願いたします。

